

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

東所傳記

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80

経済学部
研究室
52
1582

東大
15

本所
保川
起立



経済

40173

経済学
部
研
究
室

5
1582

本所起立

一、本所起立に儀々九拾九年以前曆三年酉正月十日より五日江戸大火
 而所起立に儀々以後は普請下小屋場本町築地と而地形築立は普請九拾七
 年以前より治二年徳山五等備山崎四郎左門初而右築立奉り被仰付り此節武氏
 横山町より、總西葛西殿左葛西船場と而右より而狼番を焚此又通
 を以望りを言にする如十四丁地サ差丈四尺三寸立其後横河十丁川六丁地を
 も右地サ升准一畧右と土を以一言し地形丈六三寸立被仰付候此節左役共祖人
 共右普請普請及任川を築地形築立なり然此右築場々土斗三而々土不量
 升て築立は普請運丸の中り、三河川端の畝江三十四丁余三而ハ丈六三寸立其後三
 畝五丁六丁七丁迄は水除土を築土寸分内よりハ平均五丁六丁七丁迄は水除土寸を
 築土寸分内よりハ平均三丁五丁六丁地形寸分は皆被仰付り築立相着り上九拾五年以前
 寛文五年ある端初而所規升れ通りの此節奇り芝山権左門坪内約右五丁被
 仰付初末

一、地形築立相着り場町江普請普請の小屋相通り切組被仰付り右小屋場江諸職
 人共人足南江中地此江中地におち場中の江普請普請就小屋え拂地武家屋
 敷とい所屋サ三段に相該申しは此都而江本坪と唱い故坪々々又存を



除多中 天亨書替中 以 持 三 郎 三 本 所 有 中 海 山 由

一 延 宝 年 中

常憲院様御度母桂性院様御見 布庄次郎左門後因幡方と大名被仰付の故
庄と字も相除き可き中 天亨三書替の持 三 持代官伊奈半十中 海山由 以 所
と 中 又 字 書 替 の

右 三 通 本 所 御 立 立 公 役 義 祖 公 公 勤 未 親 也 公 傳 未 覺 公 一
尤 有 右 三 持 三 儀 三 本 所 御 立 立 地 形 也 未 覺 公 三 郎 九 拾 五 年 以 前 覺 文
元 巳 年 右 持 三 規 相 通 の 由

右 三 通 曆 五 年 亥 三 日 本 所 見 廻 り 公 書 上 公 写

所 曆 三 酉 年 三 亥 三 日 五 月 廿 三 日 三 本 所 右 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所
中 役 三 又 三 人 義 祖 公 公 勤 未 親 也 公 傳 未 覺 公 一 尤 有 右 三 持 三 儀 三 本 所 御 立 立 地 形 也 未 覺 公 三 郎 九 拾 五 年 以 前 覺 文
元 巳 年 右 持 三 規 相 通 の 由

海川起立

海川小名有り公南三方可見 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所

十七番組海川 以 可 敷 三 拾 三 年 以 前 小 名 有 公 南 三 方 可 敷 三 拾 三 年 以 前
但 右 町 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所
又 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所
三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所

一 海 川 小 名 有 公 南 三 方 可 見 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所

右 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所

一 海 川 小 名 有 公 南 三 方 可 見 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所

右 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所
年 三 月 五 日 町 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所
並 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所

一 海 川 小 名 有 公 南 三 方 可 見 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所

右 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所

巳 年 四 月 門 前 町 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所 三 持 三 儀 三 持 代 官 伊 奈 半 十 中 海 山 由 以 所

丁西永丁三好丁西平野丁東平野丁東永代丁小松丁同町伊次丁丁好役地面ニ市
公役銀勤

右元祿十四年巳年中木並場丁屋敷ニ所并水地壹畧ニ場町海築立海屋敷ニ地
町海代有願買更地有丁同様丁並五德三ニ町支配ニ市公役銀勤右ニ内所食地
ニ買更仕の引又ハ直ニ好領ニ案年ハ多ト相及リ

一堀川久永丁養丁目貳丁目嶋田丁同町嶋崎丁丁代地ニ分買更代通ニ於除
右元祿十五年中海築立地町屋敷ニ地町海代有願買更地有丁同様町並ニ市正
徳ニ町支配ニ市公役銀勤

一堀川石崎丁

右元祿年中海築立地丁町海園ニ所正徳元年相願右町同様町並ニ市同三ニ年
町支配公役銀勤

一堀川入舟丁丁丁好領地入更ニ付好役地ハ代ニ通ニ

右元祿十四年公永永三年迄水地壹畧ニ場町海築立ニ地町海代有願買更地
正徳三年丁支配公役銀勤

一堀川六丁町

右元祿年中海築立地丁町海園ニ所正徳元年海代有願買更地ニ市正徳三ニ丁

支配公役銀勤

一堀川六人屋敷丁丁起立買更大和丁ニ所ニ龍外沃ニ高不座

右大和丁ニ所ニ所元祿十四年水地壹畧ニ場町海築立ニ町相願古丁同様町並
ニ市正徳十三年海九立ニ地ニ市同十四年小百道六人ハ好役被仰付町方事支
配ニ市公役銀勤

一堀川築立町地買更代通ニ

右享保十九年三町ハ差年舊外差人持多右堀築立地ニ仕好役丁屋ニ初年
正徳十三年仕丁方通手渡更買人ニ於遺り尤起立ハ々々以養生所海入月附町
支配上納地

一堀川源左門屋敷

右堀代有支配百姓地ニ所延享四年年所方支配丁並屋敷ニ相願友支配ニ年
後右町ニ内代代上納仕家作御免町並仕多段天保三年年願通ニ年々貢
手好百姓多役勤

一同町宜後屋敷

右天保三賣年中川屋々年所本町割下ハ五ヶ段所並善護相勤永々定後相勤
年々上納手可勤旨ニ越中江丁石並場ニ外以地ニ場町有好役地ニ願亭

同様丁並年割下り定後屋敷と町名相唱云々同五巳五月相齊町支配

一坪川定後屋敷統上納地

右冬五郎二寅年和泉屋文苑坪川定後屋敷縁地沼石久荒地一場所者自
介人丹三和家作地元立年上納通致報償有段願増古丁同様丁並報償地二
年印名二五郎五巳五月願増町方支配

一坪川惣福寺門前丁

右、定曆十二巳年右寺年季町屋三相願當時年季中ニ於て、

一坪川入舟丁 但武士方所領地ニ召役銀勤

一町野越島丁 但同勘

一町野越島丁 買更代通 小相寄公役勤

一町所松葉丁縁地借屋敷 報償地ニ付買更代通無二

一町所松葉丁向三角屋敷起立書通云々

右町丁支配ニ於て、合七拾貳丁

凡四拾丁買更代通惣合二万七千七拾五匁銀丸合五匁報償地武士丁人等

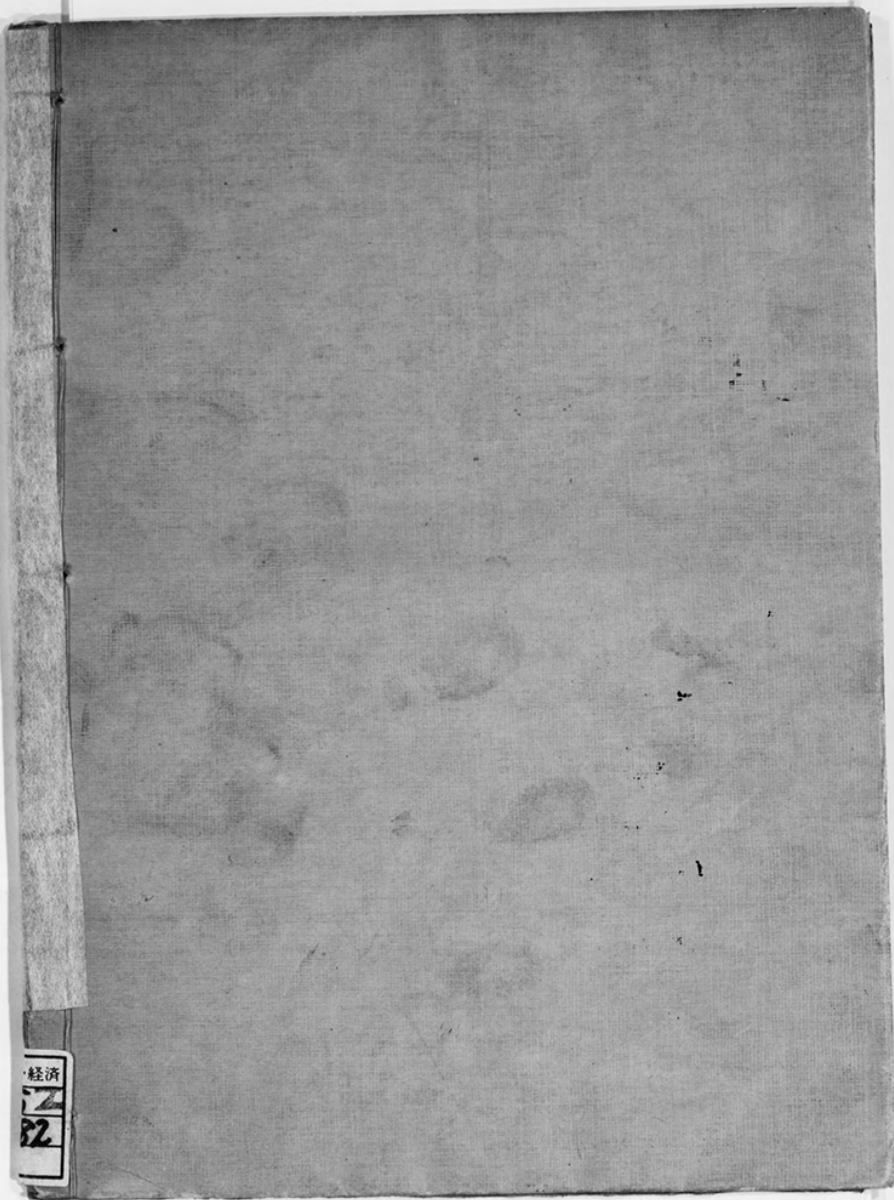
町敷拾九丁 但丁並屋敷

百餘地ニ元立五丁元立地拾丁 起立不参三丁

右の通りと候

寛政九年十一月楊左左門外調上上之軍





・経済

5-Z

82